

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	職員研修に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	1	
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	消防力の強化	担当課室長	矢ノ目 健二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。
②①に基づく取組み結果	今後数年間における消防職員の退職者増加を勘案しつつ、研修派遣者を選考し、人材育成に取り組めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防吏員	意図(対象をどうするのか)	複雑多様化する消防業務に対応するため、高度な専門的知識や技術を修得する。
②事務事業の概要	消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	災害件数の増加、複雑多様化する災害への対応や高度な救急処置が要求され、専門的な知識、技術を持つ職員の養成により安心して暮らせる消防体制が望まれている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	消防職員5人を研修派遣し、知識と技能の向上を図った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部機関への派遣を自粛したことにより、計画どおりの派遣ができなかった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	派遣率(派遣者数/派遣計画者数)	100	100	19	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	3,157	921	金額(千円)	内容		3,666	
	国支出金(千円)		677	消防学校等入校負担金			
	県支出金(千円)		168	技術講習会等負担金			
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	3,157	921				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初	0	R1からの繰越		
		R1⇒R2繰越				
③達成状況		補正		現年分		
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防車両更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	消防力の強化	担当課室長	矢ノ目 健二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
②①に基づく取組み結果	検討会を開催し、現場の意見を取り入れながら、本市に適した車両及び資機材を決定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防本部及び消防署の管理する車両	意図(対象をどうするのか)	更新計画に基づき、車両を更新する。
②事務事業の概要	消防活動を維持するために必要な、消防用自動車及び車両積載品を更新整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	複雑多様化する災害が増えていることから、安全に暮らせる社会システムへの要望が高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	救急自動車1台、資機材搬送車1台、指揮広報車1台を更新した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	車両更新率(更新台数/更新計画台数)	100	100	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	7,861	53,308	金額(千円)	内容		9,547
国支出金(千円)			52,536	備品購入費		
県支出金(千円)		4,559	685	手数料(無線機移設)		
市債その他(千円)		31,300	23	保険料(自賠責保険)		
一般財源(千円)	7,861	17,449	64	公課費(重量税)		9,547

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民の安全で安心な生活を守るため、消防用自動車等の更新は、継続していかなければならない。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	消防用自動車の更新	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	救急自動車1台、資機材搬送車1台、指揮広報車1台を更新した。	57,435	56,847	当初	57,435	53,308	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-588		53,308
				令和3年度への繰越額(単位:千円)			

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防団車両更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	消防力の強化	担当課室長	矢ノ目 健二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動ができる車両を更新整備する。
②①に基づく取組み結果	検討会を開催し、現場の意見を取り入れながら、本市に適した車両及び資機材を決定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防団の管理する車両	意図(対象をどうするのか)	更新計画に基づき、車両を更新する。
②事務事業の概要	消防活動を維持するために必要な、非常備用消防車両及び車両積載品を更新整備する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	複雑多様化する災害が増えていることから、安全に暮らせる社会システムへの要望が高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	非常備用消防ポンプ自動車(第5分団車両)を1台更新した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	車両更新率(更新台数/更新計画台数)	100	100	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	19,614	19,802	金額(千円)	内容		19,991
国支出金(千円)			19,668	備品購入費		
県支出金(千円)	1,807	1,807	120	手数料(無線機移設)		1,807
市債その他(千円)	13,200	13,300	8	保険料(自賠責保険)		13,400
一般財源(千円)	4,607	4,695	6	公課費(重量税)		4,784

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民の安全で安心な生活を守るため、非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならない。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	非常備用消防自動車の更新	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	非常備用消防ポンプ自動車1台を更新した。	20,033	20,033	当初	20,033	19,802	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	消防指令業務共同運用事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	消防力の強化	担当課室長	矢ノ目 健二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	市民の安全で安心な生活を守るため、本市を含む近隣10市と消防指令業務を共同運用する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防指令業務	意図(対象をどうするのか)	本市を含む近隣10市と消防指令業務を共同運用する。
②事務事業の概要	消防指令業務共同運用の第2期整備として、本市を含む近隣10市による共同運用を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	複雑多様化する災害が増えていることから、安全に暮らせる社会システムへの要望が高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	令和3年2月1日から本市を含む近隣10市(市川市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市)による消防指令業務の共同運用が開始された。						
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	算定根拠
	i	共同運用機器整備率	-	-	100	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算	
事業費(千円)	-	8,052	金額(千円)	内容		-	
国支出金(千円)			8,052	通信指令業務共同運用機器賃借料			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		8,052					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	令和3年2月1日から本市を含む近隣10市による消防指令業務共同運用が開始された。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	令和3年2月1日から消防司令業務の共同運用が開始になっているとともに、予算科目も消防事務に要する経費に移行しているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	本市を含む近隣10市による消防指令業務の共同運用を開始する。	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	本市を含む近隣10市による消防指令業務の共同運用が開始された。	8,777	8,777	当初	8,777	8,052	R1からの繰越
				R1⇒R2繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			8,052
		令和3年度への繰越額(単位:千円)					

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	鎌ヶ谷消防署改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	9	1	3	○
政策	安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	消防総務課			
施策	消防力の強化	担当課室長	矢ノ目 健二			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	実施設計に基づき、老朽化した鎌ヶ谷消防署の外壁等の改修工事を実施する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷消防署庁舎	意図(対象をどうするのか)	外壁等を改修する。
②事務事業の概要	鎌ヶ谷消防署の外壁等を改修し、建物の長寿命化を図るとともに災害活動拠点としての機能を確保する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	鎌ヶ谷消防署庁舎を改修し、災害活動拠点としての機能を確保することにより、市民が望んでいる消防力の強化を図ることができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	鎌ヶ谷消防署外壁等改修工事の実施設計が完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	実施設計完了率	-	-	100	% 業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	-	3,003	金額(千円)	内容		75,550
国支出金(千円)			3,003	実施設計委託		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		2,200				56,600
一般財源(千円)		803				18,950

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	改修工事に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないように考慮する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	消防庁舎は災害活動拠点としての機能を維持していくことが必要不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	外壁等改修工事に関わる実施設計を完了する。	令和2年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	外壁等改修工事に関わる実施設計が完了した。	4,380	4,380	当初	4,380	3,003	R1からの繰越	
③達成状況	完了			補正			現年分	3,003
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0		